

# ますだ通信



愛知県議会議員 ますだ裕二 中区選出

～令和元年～  
冬号

2019年度

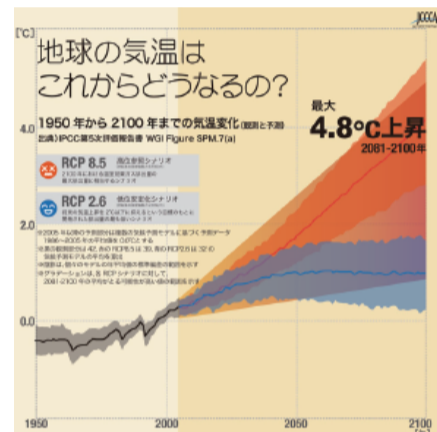
行財政改革・地域創生調査特別委員会副委員長  
県民環境委員会常任委員

## 環境委員会で地球温暖化対策について 具体的な提案も併せて質問しました

最近、世界中で極端な気象現象が観測され、強い台風や局地的なゲリラ豪雨、熱波などの異常気象による災害が各地で発生し、甚大な被害をもたらしています。

今後、極端な高温が増えることはほぼ確実であり、大雨の頻度が増す可能性が高いと言われております。

異常気象が起こる原因の一つでもある地球温暖化対策について、愛知県の取り組みを聞いてきました。



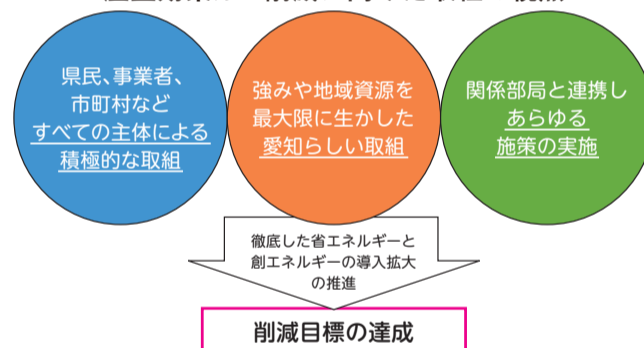
出典:全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト(https://www.jccca.org/)より  
1950～2100年までの気温変化(観測と予測)

### そこで愛知県としても

愛知県環境部でも、前回「あいち地球温暖化防止戦略2020」において、総合的かつ計画的に地球温暖化対策を進めてきましたが、結果としては、県内の温室効果ガス排出量は基準年度より増加しており、更なる取り組みを推進しなければなりません。

そこで、愛知県環境部では、新たに2018年2月に「あいち地球温暖化防止戦略2030」が策定されました。

温室効果ガス削減に向けた取組の視点



### その中でも

その中で、運輸部門については、2013年度を基準として、2030年度には28.9%削減する目標となっておりますが、最新の速報では、運輸部門のCO2排出量のみが減少どころか増加していることから、今回は運輸部門に絞って質問していきます。

温室効果ガス排出量の削減目標

- ・2030年度の温室効果ガス排出量を2013年度比で26%削減(2030年度の電力排出係数が0.37kg/kWhであることを前提とし、進捗等の評価の際は電力排出係数が0.37kg/kWhで行なう。)

(単位:千t-CO2)		2013年度 排出量	2030年度 排出量	2013比
エネルギー 起源CO2	産業部門	40,153	34,713	▲13.5%
	業務部門	12,072	6,101	▲49.5%
	過程部門	8,584	4,537	▲47.1%
	運輸部門*	13,327	9,476	▲28.9%
	エネ転換部門	2,435	1,951	▲19.9%
その他ガス	5,812	4,397	▲23.6%	
吸収源	—	▲242	—	
合計	82,384	60,933	▲20.6%	

※2016年度は、1,340万トンと2013年度に比べ0.5%も増加している。

エネルギー起源のうち運輸部門のみCO2排出量が基準年度より0.5%も増加しています。また、運輸部門のCO2排出量のうち、89.4%が自動車から排出されているとの事でありました。この数値から読み取れるのは、運輸部門のCO2排出量を削減するには、自動車からの排出量を減らしていくことが大切であることが分かりました。

そこで 裏面へ続きます

県政の相談・地域のお困りごと相談は

愛知県議会議員 ますだ裕二事務所

〒460-0012 名古屋市中区千代田4丁目17番8号 千代田ビル2階  
TEL:052-324-3947 FAX:052-332-5684



《公式ホームページ》

